

5月1日から6月5日までに寄せられた意見と要望

◆意見のうち主なもの◆

【肯定的な意見】

☆災害拠点の整備は絶対必要。

☆声に出さなくても、どちらかといえば賛成の人が多いのでは。

☆市内の運動施設が不足しているので早期に受け入れるべき。

☆家族が都内にいて地震にあうことも考えられる。入間基地に災害対処拠点を
をつくることにより、首都直下型地震で助かる人が出てくると思う。

【否定的な意見】

○市民への説明不足、周知不足。

○審議会の進め方に疑問。慎重審議を。

○災害対処に名を借りた基地拡張は戦争に直結する。

○環境問題（影響調査実施、騒音増加）

○戦争をイメージさせる自衛隊病院には反対。

◆個々の意見◆

※☆印のものは受け入れに肯定的な方の意見となります。

※○印のものは受け入れに否定的な方の意見となります。

1. 防衛省の計画全般に対する意見

市民への説明不足、周知不足

- ホームページと広報で市民の意識を広め、問題をきちんと見える形にしてオープンに議論するべき。
- 突然の防衛省の申し入れに対し、形ばかりの市民の声を聞く場の設定をし、ほとんどそのまま受け入れるようなやり方に反発を感じる。
- ホームページ上では、この計画について探さなければ見つからない。

審議会の進め方に疑問。慎重審議を。

- 審議会はみな賛成しており、十分な審議が行われているとは思えない。結論を急がず、じっくり討議し、住民投票のような形で結論を出すべき。
- 審議会の公募の選考基準があいまい。
- 少数の審議会でも重大なことを進めていいのか。もっと市民の意見を聞くべき。
- 審議会と市民説明会では雲泥の差。もっと多様な市民の意見を聞いて反映してもらいたい。
- 審議会の委員に専門性のある委員が選出されていない。

入間基地の拡大、防衛力の向上である。

- 今の入間基地に災害訓練をするスペースはないのか。
- 防衛省は災害拠点語り基地を拡張するのが狙い。入間市長が先の市議会で社会的責任があると言っていたがとんでもない言いがかりである。
- 基地拡張なら多くの市民が反対する。災害対処拠点といいながら基地を拡張する。これはごまかしである。
- 災害対策に名を借りた基地拡張は戦争に直結する。
- 運動場の利用も正門から入るのでは厳しい身分チェックが予想され安心して使えない。これでは単なる基地の拡張である。

○自衛隊の実質的な軍隊の役割を果たしていくことを考えると、軍事拠点拡大であることは明白である。

○この計画は自衛隊基地の拡張である。入間市ではなく防衛省が説明するべき。

環境問題（影響調査実施、騒音増加）

○環境アセスメントを実施し市民に報告すべき。

○留保地は貴重な森で、鳥や植物が生息している。大事な自然を破壊することになる。

○貴重なみどりを守って欲しい。

☆病院予定地や市民開放が予定されている訓練場等の土壌中に、有害物質が残留していた場合は土地利用計画を見直すか土壌浄化をしっかりと行っていただきたい。

☆留保地付近でオオタカを見たことがある。オオタカは希少種であり、工事や造成にはこうした自然環境にも留意して頂きたい。

○貴重種が発見された場合は環境に配慮して頂きたい。

○防衛省は率先して環境アセスメントを行って欲しい。非日常的な災害対応、日常的な環境保護の両立を望む。

○県が防衛省に環境アセスメントを受けなくても良いといったが、これでは防衛省の言いなりである。

○市民の生活環境の悪化は目に見えている。

○今でも騒音に悩んでいる。更なる騒音はたまらない。

○これ以上騒音を増やさないでほしい。

2. 災害対処拠点

○災害拠点をすることは自衛隊の任務に無い

○東京都に東京臨海広域防災公園がある。自衛隊の任務でない災害拠点施設の建設をなぜ防衛省が行わなければならないのか。

○災害対処拠点というなら非常食の保管庫は絶対必要。

○災害対策基本法では災害時以外は市民に開放するのが基本。

○現在の基地で災害時の支援は充分出来ないのか。

○災害拠点であるなら通常はその全てを市民の利用にすべきだ。

☆災害拠点の整備は絶対必要。住民が納得しやすい手順で進められることを期待する。

☆東日本大震災や各地で多発する気象災害、地震、火山噴火などの自然災害において自衛隊員の方々の援助はなくてはならないものである。今回の防衛省の提案は災害対応がメインであり、市として受容すべき。

☆声に出せなくても、どちらかといえば賛成ですと言う人は多いのではないかと思う。家族が都内にいて地震にあうことも考えられる。入間に災害対処拠点をつくることにより首都直下地震で助かったという人が出てくると思う。

○災害対処拠点の名のもとに、基地拡張は許されない。

○このままだと基地の拡張にしか思えない。災害対処拠点と彩の森公園とのフェンスを取り除いてオープンにするべき。

☆開放区域（運動場）の市民利用については、入間市が主導となるよう進めるべき。

3. 自衛隊病院

○集団的自衛権からくる戦争立法により海外での戦闘による負傷者を治療する目的はあきらか。海外での細菌も自衛隊病院から入間市民へ感染される。むだな後送病院はやめるべき。

○後送病院は戦争を想定した病院であるため反対。

☆化学兵器等への対処をするのであれば、病院設備にはそういった機能も考慮した整備にするべき。病院建設に賛成する者の建設的意見として受け取っていただければ幸い。

○安倍政権の進める「戦争する国づくり」と一体の戦時医療を担う道としか思えない。

○市民のためにならない入間病院に反対。後送病院が目的なのだから。

○2次救急の受け入れは要望しなくても必要であれば受け入れる。やむをえないのであれば取り付け道路、騒音問題等、国庫負担金を増額してもらい市民生活の向上を図るべき。これくらは最低譲歩案である。

○市民が使えない病院はいらない。

○多くの自衛隊員は一般病院を利用している。赤字経営でしかない自衛隊病院は建設しないでもらいたい。

○入間にはいい病院がない。市民の公益性に配慮した施設を作っていただきたい。

○総合病院を作って欲しい。

○一般診療の無い自衛隊病院はいらない。

○後送病院は戦争のための施設であり百害あって一利なしの施設である。

○市民が望んでいるのは総合病院であって、負傷した隊員が運び込まれるような病院ではない。

☆病院の屋上にヘリポートを設置して常時患者を受け入れるべき。また、自衛隊病院は患者の受け入れ態勢など、地域病院とネットワークを結び、連携が図れる体制を築くべき。

☆2次救急の受け入れについて、運用方法など十分に協議するべき。受入拒否等が無いよう体制を整えるよう要望するべき。

4. 緑地帯

○たかが15mの緑地帯では緩衝林とは程遠い。

○入間市長が理事を務めている県基地対策協議会の国に対する要望の緩衝林や緩衝帯を増やせという要望に逆行している。

○緑地帯を削らず地球温暖化の歯止めの一助にして欲しい。

5. 平和都市宣言について

○後送病院は平和都市宣言をしている入間市民の要望と逆行している。

○平和都市宣言をしている入間市で基地の拡大はおかしい。

6. 入間市の跡地利用計画を進めるべき

○平成20年に決定した「跡地利用計画」の実施を主張すべき。田中市長の「社会的貢献論」はいただけない。

○入間市は平成20年の計画がある。健康増進などのゾーンとして計画どおり進めるべき。

○平成20年の計画を進めるべき。財政が厳しいなら今のままでよい。

○市の計画どおり公園等として活用するべき。

○今回の計画は入間市の計画の本質に合致しないと普通の人は考える。

7. 政府に対する意見

○安倍首相の推し進める戦争する国づくりに呼応しているとは思えない。

○安保法制（案）の危険な動向を考慮すると新たな自衛隊の施設は危険性を感じる。

○自衛隊が海外で戦争に巻き込まれ、危険が増す。負傷した隊員を受入れるような事になる

のは反対。

8. オスプレイについて

- オスプレイが飛来する恐れがある。
- 基地が大きくなるとオスプレイの離着陸訓練が行われるかもしれない。これ以上大きくしてほしくない。
- 災害用のオスプレイが必ず飛来する。
- 災害を口実にオスプレイが飛来する恐れがある。
- オスプレイは来てほしくない。

9. その他

- 入間市だけでなく近隣市にも災害の訓練を行うことで騒音被害があり関係している。国は県や自治体を無視している。地方自治を尊重していない。
- 各種事態について具体的に説明をお願いする。
- 入間市がまだ認めていないのに防衛省はすでに予算を組んでいる。全く市民を無視している。防衛省は市民に対しての説明会を行うべき。
- 藤沢地区でも説明会を開いて欲しい。防衛省が開くべき。
- 市長はもっと市民の意見を聞いて欲しい。
- 昭島市では1円もかけずに整備している。入間市が主導で活用するべき。
- 市民の利益を優先し、魅力ある入間市を望むなら即刻防衛省の申し入れを返上するべき。
- 前回の市の計画ではアンケートが行われたはず。今回も実施するべきである。
- 市長のいう社会的責任は入間市のためにならない。もっと慎重審議をしてほしい。
- 大規模な伐採や、造成工事に伴い騒音、ほこり交通渋滞が懸念される。
- ☆市民説明会に参加したが、反対派が多い状況であったため、賛成の意見が言えなかった。
- ☆入間市にはサッカー場が不足している。土日だけでもサッカー場が使えるのであれば、不足している現状の改善につながる。早期の利用が出来るよう防衛省に対して申し入れをお願いする。
- この意見は市民の生の声として市役所のHPに掲載していただきたい。
- 自衛隊病院が出来ることにより入隊希望者が減るのではないか。徴兵制にならないよう祈っ

ている。

○市はもっと主体性をもってほしい。

☆説明会に参加したが、説明会の雰囲気には違和感を覚えた。参加者はほとんどが反対派であったと思う。災害対処拠点が必要と思う人がとても手を挙げられる雰囲気ではなかった。

○家族を戦争に行かせたくない。入間市民憲章にある「やすらぎのあるまち」を創ってくれることを願ってやまない。

○財政面の問題だけで受け入れるのは民主主義に反した暴挙である。

○今回の計画を進めれば、入間市の悪政を残すことになる。

○集団的自衛権で自衛隊が世界各国に出向きそこで伝染病などの感染、そして負傷した自衛隊員の病院になるのではないか。

○市民のために働くべき市長、市議、そして市の職員はいったい誰のために働いているのか。

自衛隊基地を認めるということは市民のために働いていないと認めることではないか。

☆安全な歩行&ランニングロードと未就学児でも遊べる公園も作ってもらいたい。にわか雨や雷の雨よけに東屋(あずまや)とその下にベンチを何カ所か設けてほしい。駐車場は信号機のところから道路に出られるとよい。また、今ある信号機の所から出るようになるならば、その信号機の東町団地に向かう道は、歩道もなく狭いので広げられるとよい。

◆防衛省の利用計画に対する要望書の概要◆

1. 入間市消防団（団員 4/1 現在・286 名） 平成 27 年 5 月 8 日付
消防団訓練用地整備について
2. 豊岡区長会（34 区長）平成 27 年 5 月 26 日付
豊岡地区の防災倉庫の設置について
3. 入間市体育協会 平成 27 年 6 月 5 日付
陸上競技場、サッカー場、ソフトボール場の整備について
4. 入間市サッカー協会少年少女部会 平成 27 年 6 月 5 日付
サッカー場等の整備について